

公益社団法人 宗像市シルバー人材センター
令和3年度事業報告

1 事業概要

感染が続くコロナ禍により非常事態宣言やまん延防止対策が発出され、外出自粛、施設使用制限などの要請がなされました。

このことで、赤間駅駐車場の利用者の減少により、大幅な減収になりましたが赤間駅の指定管理の減収分については宗像市から補填していただき減収を抑えることができました。

コロナ禍でも令和3年度の受注実績は契約額 345,160 千円(前年比 7,045 千円)の増額となりました。

会員数は 564 人と、前年比 26 名の減となりました。入会者は 78 人増加しましたが、退会者は 112 名となりました。

また、入会者の平均年齢は 70 歳を超え、会員の高齢化が進んでいます。

次に事業の経常収益は前年比 8,101 千円の増で、経常収支は 5,035 千円の収益増となりました。

赤間駅指定管理業務においては、今後とも利用券の販売促進や、施設維持費の削減で収支の改善を図ります。

また、市が進める高齢者在宅支援となる家事援助事業は受注件数と受注額とも前年度から大幅な減少になりました。これもコロナ禍によるもので家庭内での仕事に不安視する会員及び発注者が多くみられました。

今後もコロナ禍の終息が不透明な中で、従事できる女性会員の確保が進まず、その対策を急ぐ必要があります。

屋外作業では会員の高齢化やコロナ禍もあり、剪定は契約金額が減額となりましたが、草刈り・除草の契約金額が増額となりました。

派遣事業は微増ではありますが7件増加しました。

最後に「安全はすべてに優先する。」とするシルバーの基幹である安全就業対策では、事故件数は7件。令和2年度と比較すると3件の減少となりましたが平成30年度の4件と比較するとまだ多い件数です。

このことから、安全委員会の事故検証結果を行い、安全対策計画に基づき今後も、この計画を確実に実行することで、事故抑制を図ります。

2 令和3年度実績

受注件数	2,665件	(56件の減)
契約金額	345,160千円	(7,045千円の増)
就業実人員	512人	(31人の減)
会員数	564人	(26人の減)

()内は令和2年度実績との比較

(事業実績)

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援事業（公益目的事業）

1 就業機会提供等事業

(1) 受託事業（一般）

受託事業は屋外作業会員の高齢化で会員の減少が進むなか、駐輪場や施設管理等の屋内管理作業を希望する会員が増加している。また、家事援助事業に従事する女性会員の確保が急務となり、センターが行う受託内容の周知回り就業開拓活動と併せて、入会希望者への個別相談を行うことで入会機会の充実を図りました。

① 就業開拓

- ・公式ホームページの活用で、シルバーの情報提供の拡充を図った。
- ・国と宗像市からの補助金を活用し、就業開拓員を採用してチラシのポスティングなどを行った。

② 就業機会の拡大

- ・入会説明会をセンターの他、河東、東郷コミセンで月2回開催するなど、引き続き説明会の受講機会の充実を図った。
- ・入会希望者には、説明会後の個別相談を実施し、就業の理解を深めた。
- ・各種広告紙の活用やホームページによるセンター情報の発信を行った。
- ・グループ就業やローテーション就業を実施し、就業機会の拡大を図った。

令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
471人	54,255人	90.8%	263,297千円

(2) 受託事業（業務委託）

宗像市指定管理者制度の赤間駅北口・南口自転車等駐車場及び自動車駐

車場の運営管理を実施した。

運営は自転車等の適正管理の他、利用者の利便性を図るため、駅周辺事業所に駐車場の一時利用券の購入をお願いした。

また、赤間駅周辺の清掃活動を定期的実施し、地域貢献に寄与した。

令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
58人	3,668人	100%	44,510千円

(3) 独自事業

会員の知識・経験・能力を生かした独自の創意と工夫により、次の事業を実施した。

- ① 週2回、会員5名を講師として、習熟度に応じたパソコン教室を開催予定でしたが、コロナ禍による自粛要請により6、2、3月は中止し、延62人が受講した。

令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
5人	200人	100%	364千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において就職を斡旋する。また、求人・就職の取り扱いについては、職業安定機関と連携し、雇用情報の収集、情報交換を行った。

2 労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員に対し、就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援を行った。

① 派遣先開拓

民間事業所、公共団体からの受注促進を積極的に図るため、事業所訪問活動を実施し、センターの情報提供を行なった。

② 就業機会の拡大

派遣労働を希望する会員とマッチングを行い、就業機会の拡大を図った。

た。

令和3年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
93人	9,869人	100%	36,989千円

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① 会報「シルバー宗像」を7月に発行し、会員や市民への活動内容の情報提供を行った。
- ② ホームページで入会に関する情報や求人情報の発信を行った。

(2) 社会参加活動・ボランティア活動の参加

- ① センター内の花壇に花を植栽した。
- ② 河川愛護活動として釣川クリーン作戦に参加した。
- ③ さつき松原アダプト・プログラム等に参加（年1回）
さつき松原内の割り当て区域（3,800㎡）の下草刈り活動に延べ29人が参加して、松木の育成活動を行った。

(3) 地域交流活動

職群班による赤間駅周辺の清掃活動を年3回実施し、延べ49人が参加した。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

「安全は全てに優先する」を合言葉に、安全・適正就業委員会において、令和元年度の安全就業対策計画に基づいて、安全・適正就業に取り組んだが、結果として7件の事故が発生した。その内、重篤につながる事故はありませんでした、前年度から3件減りました。

① 全ての会員に安全意識浸透の徹底

令和3年度安全・適正就業実施計画に定める安全対策を、職群班会議等を通して、各班で取り組んだ。

② 作業別安全就業基準の遵守の徹底

事故「ゼロ」を目標に安全適正就業の強化に取り組んだ。特に、安全パ

トロールを通じて、現場の事前確認、始業前ミーティング、保護帽子の着用や使用器具点検を実施した。

③ 委員会による安全パトロールの実施

安全・適正就業委員による現場パトロールを6回実施した。

(2) 適正就業の徹底

① 適正就業推進規程に基づく就業について、委託契約書に定める内容の確認を、事業所訪問や会員からの聞き取り等を行うことで、適正化を図った。

② 毎月の出勤シフト表等で適正基準内就業（月10日、80時間、週20時間）の確認を行った。

③ 適正就業推進規程に基づく就業調整として、公開募集を年2回実施した。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

会員及び地域の高齢者を対象に、随時、来訪や電話等により就業相談を実施した。

(2) 入会説明会の開催

入会希望者を対象にセンターの他、河東、東郷コミセンで毎月2回開催した。同時に、出席者に対して個別に相談時間を設けて、理解を深めた。

また、開催日時はチラシや市広報紙、ホームページ等で周知を図った。

4 研修・講習事業

(1) 職場内での課題と解決策をテーマに会員自らが研修を行なった。

(2) 職員の資質の向上を図るため、専門研修を中心に計3回参加した。